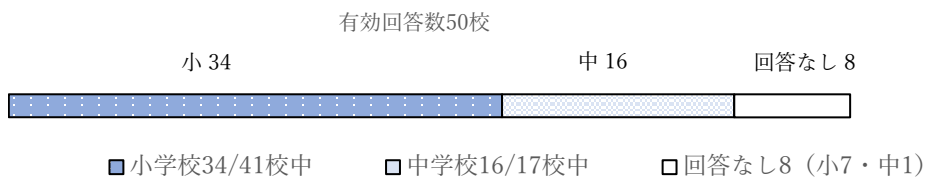


令和3年度 副会長会アンケート集計について

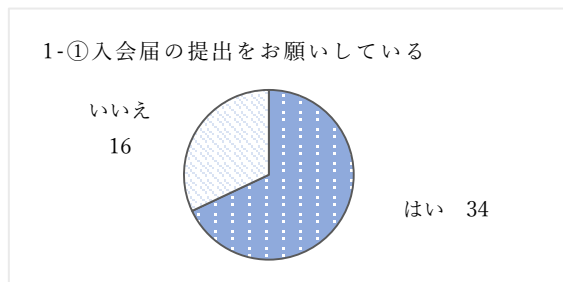
令和3年度 PTA 連合協議会の副会長会において各校 PTA にアンケートを実施し、結果を取りまとめました。

今回のアンケートは、市内の公立小中学校 58 校の PTA に送付し、50 団体からご回答をいただきました。



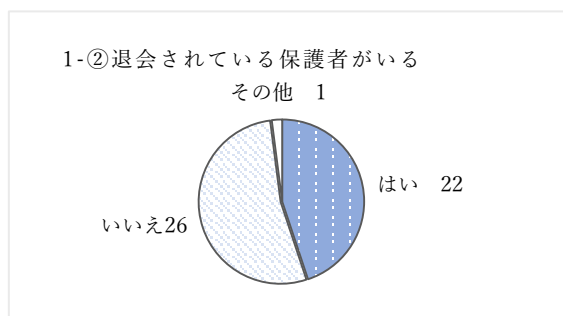
1. 入会届・退会届について、①から④の質問をしました。「はい・いいえ」で回答

① 会員に PTA 入会届の提出をお願いしている



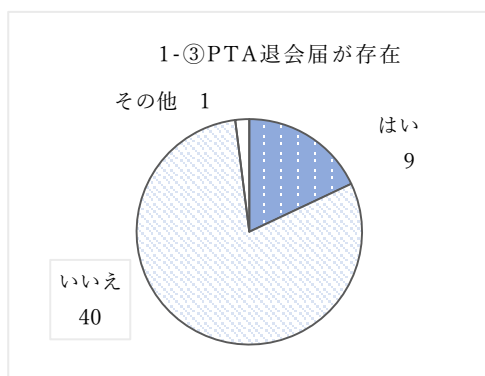
となり、68%が入会届の提出をお願いしていると答えました。

②退会されている保護者がいる



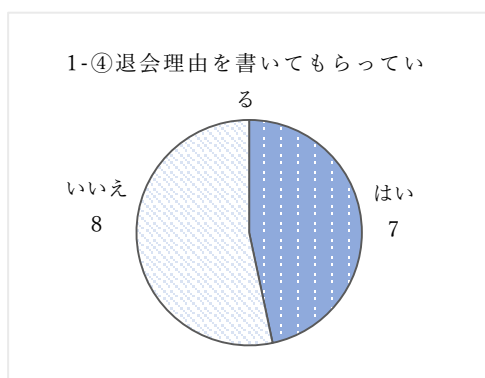
このことから、約半数の PTA で、退会される保護者の方がいらっしゃるようになりました。

③PTA 退会届の様式が存在している



一方で、退会に際して様式を整備できていないPTAが80%に上りました。

④



「はい」の場合、退会理由を書いてもらっている

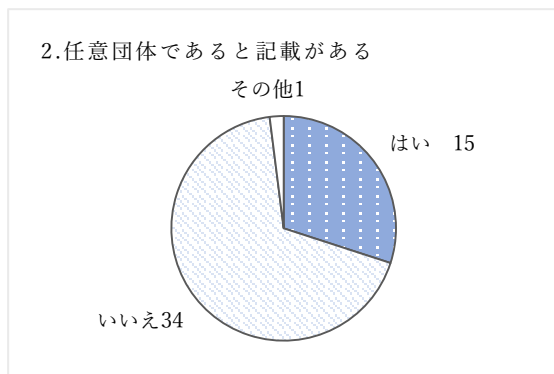
なお、退会理由書の取扱いについても回答いただいたところ、個人情報の取扱いに留意している状況や課題があることが見えてきました。

- ・ 退会届は退会者から学校職員に渡され、会計処理、処理後は会長が任期中の会長ファイルに保管しています。次年度以降の会長には、事例として引き継ぎます。
- ・ 退会者が差別されてはいけないので、役員全員での情報共有はしません。しかしPTA活動をするにあたり、一部の役員は止むを得ず退会者の名前を知ることになります。その際、退会理由は知らされません。
- ・ 2019年度までは入会届の提出を依頼していましたが、20年度以降実施していません。そのため、入退会があいまいになっています。また、これまでの退会届は所在不明です。
- ・ 退会希望の連絡を受けた方には退会に伴うデメリットを対面、電話、書面等で説明し、了承したことを含めた退会届を提出してもらい、退会理由とともに役員内のみで情報共有します。書類はPTA室内の鍵付きの棚に保管しています。保存期間は未定です。
- ・ 教頭先生が管理しています。
- ・ 卒業まで保管します。
- ・ 転出届＝退会として処理しています。
- ・ 校長の署名後、受理書を退会される方へ返却、退会届は役員でのみ共有しています。

次に、PTA という組織についてききました。

2. 〈団体の任意性について〉

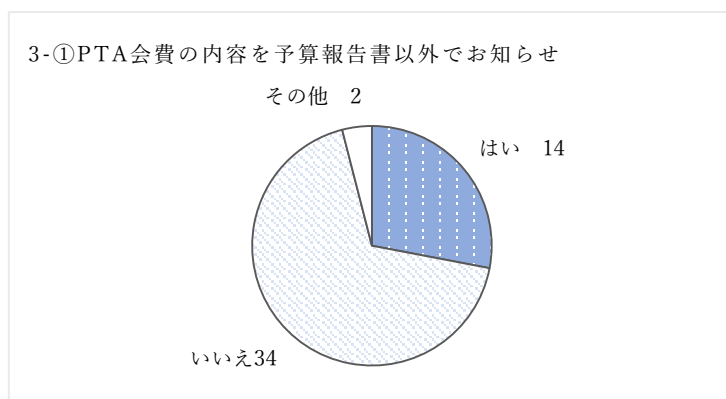
(質問) 規約に「任意団体である」との記載がある



この質問については、68%の団体に記載がない一方で、30%のPTAには任意団体であると記載していました。

3. 〈PTA 会費の内訳について〉

(質問①) 保護者に PTA 会費の使用内容をより把握していただく為に予算報告書・活動計画以外にお知らせしていますか？



(質問②) 「はい」の場合、具体的にどんな方法でお伝えしているかを聞きました。

- ・ 運営委員会やPTAレターPTAからの手紙などでお知らせ
- ・ 5月の総会で前年度会計報告書としてお知らせ
- ・ PTA総会で前年度の活動実績を報告。また、定期的に運営だよりを発行し、PTAの活動の詳細についてわかりやすいようにお知らせ
- ・ イレギュラーな出費（コロナ対策、コロナによる事業中止の余剰金を使った児童あたりの教材費の補助など）はPTAだよりにして事業報告
- ・ 「PTAについて」というパンフレットを作成し、入学式や入学説明会でもお話し、毎年何に使ったかをできるだけ更新
- ・ ホームページで購入したものの写真をアップする
- ・ PTA会費徴収の通知文書（入会確認時）に、PTA会費の主な使途を紹介
- ・ 今年、HP開設したのでそちらで取り組みを紹介予定
- ・ 新入生には入学式の際に又、在校生には始業式の際に「PTA会費のお願い」という文書を配布し、文書内に使用内容を記載

- ・ 運営委員会やPTAレターなどでお知らせ
- ・ PTAについて、というパンフレットを作成し、入学式や、入学説明会でもお話し、毎年何に使ったかをできるだけ更新しています。
- ・ 広報誌、学校ホームページでも購入したものの写真をアップするなどわかりやすくするようにしています。
- ・ 5月の総会で前年度会計報告書としてお知らせしています。
- ・ PTA会費徴収の通知文書（入会確認時）に、PTA会費の主な使途を掲げています。
- ・ 例年ですと、1月頃より決算準備を開始し、年度末までに決算報告書を作成し保護者へお伝えしています。
- ・ PTA総会で前年度の活動実績を報告しています。また、定期的に運営だよりを発行しており、PTAの活動の詳細についてわかりやすいようにお知らせしています。
- ・ イレギュラーな出費（コロナ対策、コロナによる事業中止の余剰金を使った児童あたりの教材費の補助（200円/一人）など）はPTAだよりにして事業報告しました。
- ・ 今年、HP開設したのでそちらで取り組みを紹介予定です。
- ・ 年に数回発行するPTAのお便りに活動予定や活動報告（具体的な金額記載はなし）を記載するようにしています。
- ・ 不定期で運営委員会だよりアンケートなどを発行
- ・ PTAからの手紙などで活動内容、また会計中間報告で、案内しています。
- ・ 新入生には入学式の際に又、在校生には始業式の際に「PTA会費のお願い」という文書を配布しています。文書内に使用内容を記載しています。

4. 〈PTA 役員の選出について〉

（質問①）PTA 役員の選出方法（立候補・推薦制、指名委員制等）とその長所短所について具体的にご記入ください。

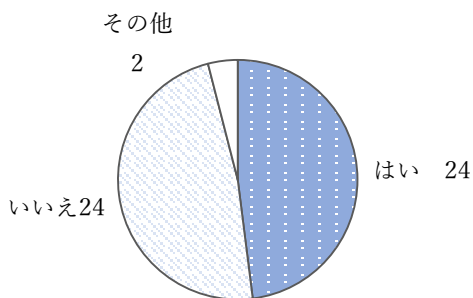
この回答からは、団体が工夫をしながら個々のPTAに合った様々な方法で役員を決めている状況が見られます。また、立候補のあった範囲で事業を行っている団体もありました。

- ・ 推薦制、立候補制を導入しています。推薦、立候補での候補が一人もいないと、運営がストップしますが、やる気のある方、問題意識を持った方が役員になるので、運営がスムーズです。ポイント等は廃止しているので、指名する、されるのストレスもありません。
- ・ 三役は指名委員による選出です。学校との繋がりが薄かった人や、想定していなかった人も三役になる機会ができます。短所はなかなか候補者がみつからない、断られた場合、何度も同じ仕事内容を説明しなければならないことです。
- ・ 指名委員に選出された保護者の精神的負担が大きい。
- ・ 立候補→自薦・推薦→希望者がいない場合最終的には抽選となります。全保護者より、記名制で推薦者を出してもらい、事情がある方には免除の連絡をいただく事で、役員選出委員会の負担が少ないです。1年生しかいないご家庭は知り合いがいなく推薦できない、友達や知り合いを裏切るようで名前を書きにくいなどの短所があります。

- ・ 全会員に推薦を依頼し、候補者を若干名選出（同時に立候補も可）します。短期間で決定でき、知り合い同士で立候補もできるので活動しやすいです。短所は、推薦で選出された方は、活動に参加しない場合があります。
- ・ 立候補・推薦が上がらない場合は、コロナ禍のためお電話でお声がけしています。
- ・ 9月に立候補を募るため、アンケートを取ります。その後、立候補がない委員等は声掛けで集めます。やる気のある方に委員になってもらうので安心してまかせる事ができますが、決定するまでに時間がかかります。
- ・ 本校では、昨年度の規約改正にて、これまでの指名委員制度を廃止し、立候補を募った後、欠員が生じた場合は免除者（歴代の役員等）を除いての抽選にて選出する方法に変更しました。近年の指名委員の負担増大と今般のコロナ禍で、家庭への訪問が困難になったこともあり、指名委員制度の廃止は正しい選択だったと思っておりますが、欠員の抽選補充については、保護者間における相互扶助の観点から、公平性を保つことができるという長所がある反面、選出された方の意識によって、質の低下につながる可能性ははらんでいるのは否めないところです。
- ・ 立候補：会員全員の意思確認ができますが、立候補で決まることはありません。指名委員制：現役員の人脈以外の人選がありますが、人選が進まず結局役員が動くこととなります。
- ・ 会長・副会長の候補者を指名するために指名委員会を発足しています。以前、指名委員会から「立候補制導入しては」との意見は出ていますが、運営委員会として変更の要望が出ないこと、指名委員会には負担をかけないという暗黙の了解でここ4年特に問題ありません。
- ・ 立候補制で、定員に満たない場合は抽選。PTA活動に積極的な方が集まります。知人同士で立候補されることが多く、運営が円滑にいきやすい。PTA活動に消極的な方にも関わってもらうことにより活動を知ってもらえます。知人ばかりで集まると考えが偏る場合があります。また、やりたくない方が選ばれてしまう場合もあります。
- ・ お願いに伺っても断られ、選考委員会そのものも出席者が少なく機能を果たしていません。

（質問②）PTA 役員選出の際、辞退理由の説明や提出を会員に求めている。

4-②辞退理由の説明提出を求めている



アンケートの結果から、辞退理由の説明等を求めている団体はほぼ半数でした。

(質問③)「はい」の場合、辞退理由の説明や提出をどのように(口答・書面など)求めていますか。

また、辞退理由の取扱い方法(役員で共有・クラスで共有・特に共有していない等)についてもご記入ください。

ここでは、辞退理由を聞いている団体は約半数です。その取扱いについては大半が役員のみで共有されています。また、辞退理由を役員に伝えたくない場合は、校長先生に相談し、役員が理由を共有しない場合もあるようです。

- ・ 書面で無理なく書ける範囲で書いていただき、役員選出委員長、副委員長のみ確認し、共有は役員でも一切していません。基本的には、体調に不安がある、お子様に事情がある方は免除となり、他にも様々な理由で免除を受け入れるようにはしています。
- ・ 口頭、書面とは決まっていますが、説明は求めています。役員内のみで共有
- ・ 書面、メールなどで提出。辞退理由は役員で共有(他の会員からの不公平などの不満が上がる場合は、以前はクラスで共有など考慮していたようです。)辞退理由を役員などに伝えたくない方については校長先生に相談して頂き、役員は明確な理由を共有しない場合もありました。
- ・ 口頭で聞いて5役内で共有し、理由によっては次年度等の5役にも共有します。
- ・ 選出会に出席し、出席者の前で口頭で理由を発表、もしくは書面を提出して役員が代読し、辞退について出席者の賛成が過半数以上得られれば、辞退が認められます。辞退理由については議事録の中で内容が記録されますが、個人名は記録されません。
- ・ 書面で提出していただき、情報は役員のみで共有し、PTA室内の鍵付きの棚に保管します。
- ・ 役員でなく委員ですが、書面で提出してもらい、選出クジ引きの前にクラス全体に共有承認できるか否か挙手で多数決を取ってもらいます。憂鬱です。
- ・ 書面。校長、教頭、会長、副会長で共有します。
- ・ 辞退の場合は会長と選考委員で意向を聞き退会の流れとなります。辞退理由については、役員で共有しています。
- ・ 口答、書面。推薦委員間のみで共有。一時的な選出の参考にする程度。
- ・ 役員選出用紙に辞退理由記載欄を設けています。辞退理由は役員でのみ共有しています。
- ・ 電話での対応なので、口頭で求めています。役員(指名委員)で取り扱いをしております。
- ・ 書面で提出いただき、役員で共有します。クラス委員選出時、運営委員選出時にも適用予定です。除外対象者:当校において 1.今年度運営委員または地区委員 2.各委員及び地区委員の経験者で免除希望の方 3.運営委員経験者(役員及び各委員長)で免除希望の方 4.コロナ禍における医療従事者 5.未就学児のいる方、妊婦の方 6.特別な事由がある方(理由をお書きください。除外対象にならない場合もあります。)
- ・ 言える範囲で、記入して来られる方にはその意見をできるだけ尊重するようにしています。
- ・ 指名委員から書面で求めて、すべての管理を指名委員で行っています。
- ・ 書面により辞退理由を記載し提出してもらっています。そして運営委員会で協議し、辞退条件に当てはまる場合は認定し、結果を通知する方法です。
- ・ 決まらなかった時の最終手段が「くじでの選出」ですが、「くじが決まったら強制」のようなイメージが多いのか退会者が多い。明確な退会の様式もないため「会の主旨には賛成だが役員ができない。やりたくないから退会」という選択をする保護者が多数います。役員辞退の許容度を上げて、会員を確保してもいいのではないかと考えています。

(質問④) PTA 役員選出で困っていること、選出難航時に指名委員等や会員にお願いすること等があれば、ご記入ください。

- ・ 立候補や推薦による人選が困難な時は役員の仕事をより詳しく説明し、協力者が少なければ行事や対外的な会議等も無理に参加する必要がない旨を伝えます。イベントはボランティア制をとっているのも、企画するかしないかも役員次第。無理な負担をしてまで行う必要がないという考え方が少しずつ浸透しています。実情を正確に伝えること。
- ・ 当小学校では、約180世帯のうちPTA役員(運営委員のメンバー)約60世帯が関わっています。運営委員等のポイント制度の導入はなし。以前は、役員選出がない場合は、指名委員が責任を取ってやるということも聞いたことがあります。指名委員会はあくまで役員候補者を指名するところまでの役割です。運営委員会のメンバーに誘うことはあるが、強制ではありません。以前の会長の方針として、「やらされているのではなく、PTA活動をやってみて保護者が楽しみましょう」が浸透しているのか、運営メンバーの選出には困っていません。
- ・ 人の名前を書かないといけないという部分で、賛否ありますが、書かれたり、抽選で当たったらやるよ、という方も一定数いらっしゃり、自薦して頂ければ人の名前を書かなくて済むのでスムーズなのだと思います。副会長は特に、手を上げてまではやりたくない、というのが実情なので困っています。そのため、どなたもいらっしゃらない場合は、抽選して、できない部分は、運営経験者もお手伝いしながら運営していくという形をとっています。
- ・ 家庭数が少ないため、経験済みの方が多く人選が難しい。コロナ禍で保護者同士の交流が少なく、知り合いが少ないため指名制度が成り立たない。
- ・ トイレ清掃や地区児童会など、本来学校や教委、市側でやるべきでは?ということが、PTAにおしつけられ過ぎていて、次の人に引き継ぐのが非常に辛いです。難航時はお手紙での募集や個人的な声かけによります。
- ・ 今年度はすべて立候補で定員数きっちりに決まったので全く問題ありませんでしたが、毎年そうはいかないと思われ、立候補が多くても少なくても困りそうです。前もって知人に声をかけたり、PTAの魅力をお伝えしたりしてもらおうよう提案しています。
- ・ 配布資料が多い。日程調整が大変。
- ・ 立候補者がいなかった場合は、指名活動が負担となります。そのため指名活動の長期化と負担軽減のため、最終的には抽選で決定することにしています。
- ・ 複数の役員選出が必要なのに人数が揃わなかった場合は、すでに選出(決定)している役員さんに声掛け等をお願いしています。
- ・ 運営に影響が出るため、話をして事情を聞き、無理強いはしていません。仕事をしていてもできる無理のない活動をアピールして、実際にも運営委員会出欠席なども、配慮をすることで無理なく活動できています。当校では立候補者がいないことが大変問題になっています。従来の選出方法は任意性が乏しく、個人のプライベートな健康上の理由を発表するなど、倫理的にも問題があると思っています。立候補がいなかった場合には、推薦された方の中から抽選するという不公平な選出方法になっており、今年度は立候補を募りやすいように他校に習ってPTA室開放を行う案も出ていますが、立候補がいなければ、全会員からの抽選を実施する方向で相談しています。立候補が出ない場合に抽選となると、任意性を損なう心配がありますが、そうと云って任意性を尊重すればPTAそのものの存在が難しくなるのではと思われるため、昨今の家庭事情から、そのあたりのバランスや活動内容の見直しや周知が課題です。

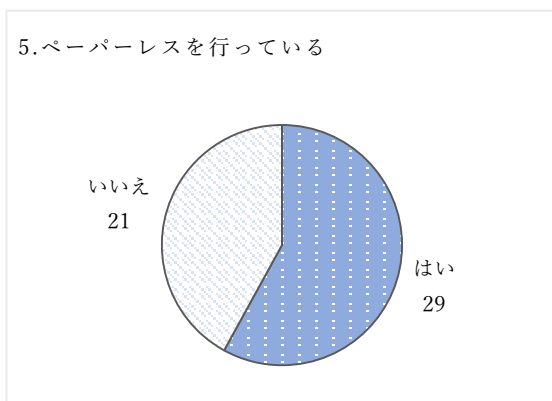
- ・ PTA に興味がありそうな人を教えてもらいます。
- ・ 規約改正して間もないこともあり、現時点で問題点等は特にない。
- ・ 毎年難航します。選考委員会が機能していないため、現役員に負担がかかります。現役員に次期役員の選出まで任せると、役員の負担が増大して、ますますなり手がなくなります。保護者だけでなく、PTA として対等な立場であるはずの学校サイドの協力がもっとほしいです。
- ・ 仕事をしている人が増えてきているので、自分から進んでできる（やりたい）人が減ってきていると思います。役員の仕事量の見直しが必要と考えております。
- ・ 家庭数も年々減っているので毎年難航しています。やって頂けそうな方をお願いするしかありません。
- ・ 小学校区の偏りが出てしまう。
- ・ 基本的に役員選出は指名委員が単独で行っていますが、役員選出がスムーズに行われるようにサポートしています。
- ・ 役員（特に会長）のなり手がいません。PTA の必要性を現役員ですら上手く（自信を持って）伝えられない。役員候補者が見つからなければ指名委員の中からはなっていないか打診しなければならない。
- ・ 今年度は立候補・推薦（抽選）制度から、希望職立候補、抽選制度へ移行を検討中です。会長は適性もあるので、立候補が出なかった時、抽選で選んでしまってもよいのか悩んでいます。
- ・ 強制的な選出はしておらず、立候補で集めているため、永続的に成立していけるか毎年課題となり難航します。
- ・ 役員（会長、副会長、会計）の選出は、ここ数年スムーズに決まっている。運営委員の選出において、選出時に全くやる気のない人が選ばれてしまうと、その後の運営委員会役員を依頼しても断られる事もあるので、お願いの仕方は難しい。電話だけではなく直接依頼したり、友人との参加をすすめる事もある。無理に依頼はしません。
- ・ 困るような事はしません。
- ・ これまで2回しか役員選出を経験していないので、まだ困っていることはない。
- ・ 立候補する方が少ない。PTA の存在意義を深く理解していない保護者が多いです。PTA は失ってはじめてわかる価値と思います。

⇒生徒へ安全・安心な学習環境などの確保（保護者の目・意見は抑止力）

⇒任意団体であるが、選挙で選ばれ民意を代表する組織。いわば子供達を守る力ある団体であること。

但し、面倒ややかいかと思われるなら、存在や役割を見直した方がいいかもしれません。実際にいじめなどのトラブルがあっても対応するのは当事者の保護者です。事情も判らない PTA が関わることは極めて困難です。

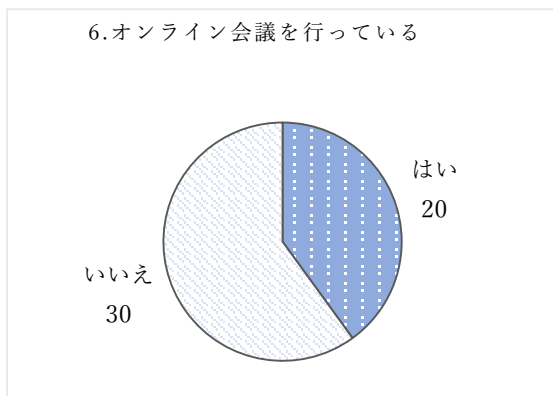
5. PTA 活動での連絡はペーパーレス化を既に行っている。



過半数の団体がペーパーレス化を行っていました。その手法は主に下に示したとおりです。

(1) 学校の HP	17 団体
(2) 保護者への連絡メールに添付	15 団体
(3) その他	
LINE ブログ、	
PTA の Gmail	
書面総会など一部	
google フォーム	
学校 PTA 公式 LINE	
PTA の HP、書面と併用	
LINE 公式アカウント	
学校の e-スクール	
LINE のオープンチャットに pdf を掲載	
書面と有料のクラウドサービスとの併用	

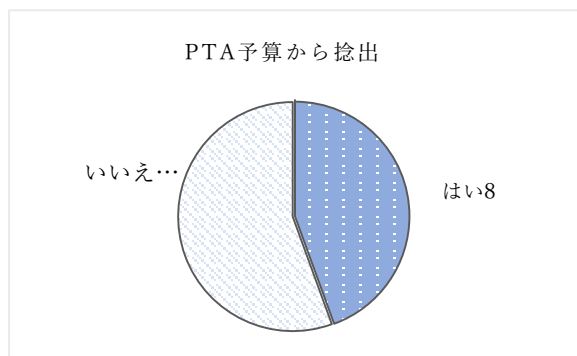
6. PTA 運営委員会でオンライン会議を既に行っている。



オンライン会議の開催については、40%にとどまりました。その中で、オンライン会議に用いたソフトなどは、以下のとおりです。

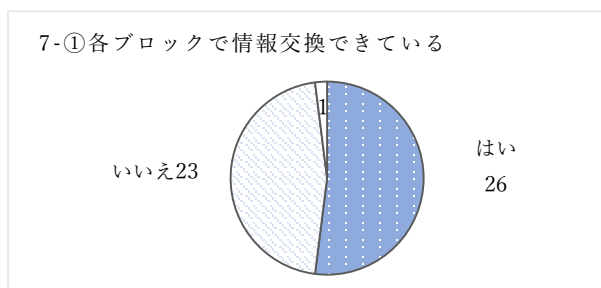


そのオンライン諸経費は PTA 予算から捻出されているかどうかについては、



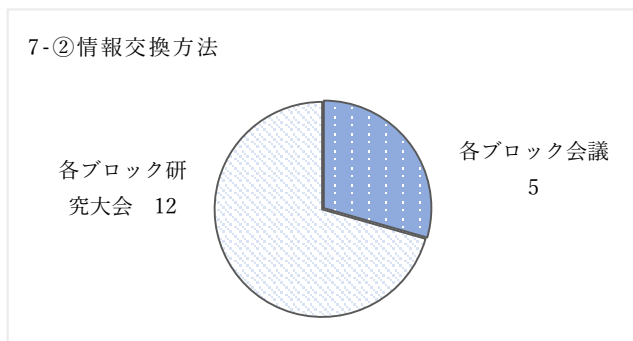
半数以上が、PTA 予算から支出されていないと答えています。

7. (質問) 副会長の情報交換は各ブロック等で、できているかどうか

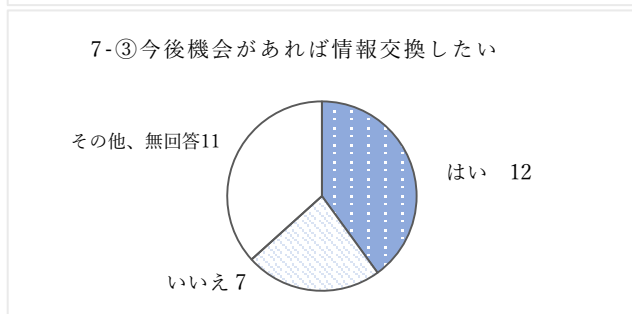


52%が、できていると答えています。

さらに、「はい」と答えた方に、情報交換の場についてお聞きしたところ、



ブロック研究大会やブロック会議でという団体の答えがありました。それ以外では、グループ LINE、研究大会という回答もありました。



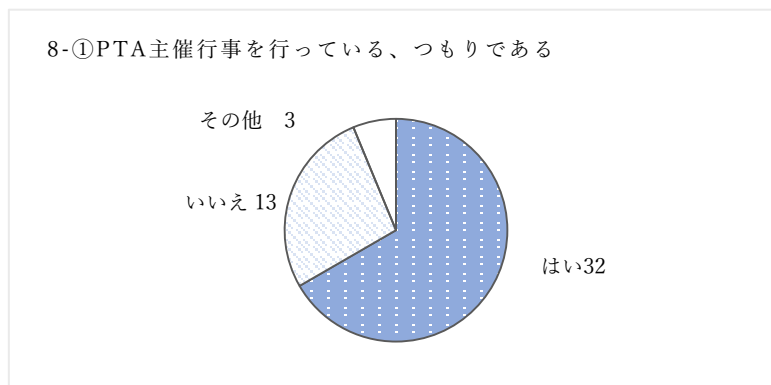
また、情報交換ができていないと答えた団体中の 12 団体が機会を求められていました。

(質問) 副会長の情報交換について、ご意見があればお願いします。

- ・ PTA 活動については各校さまざまなやり方があるかと思いますが、他校がどのように対応されているのか知ることができれば、自校にも活かせることがあるかもしれないので、気軽に情報交換できる場があればよいと思います。
- ・ 副会長が一番悩むことが多く、過去に会長会のように副会長会があってもいいのでは？となり、集まったこともありましたが、集まるとホスト校の負担も増えるので、続きませんでした。
- ・ 昨年から新型コロナウイルスの関係で、ブロックの行事ができていないため、特に情報交換の場はないが、今まで慣例で行われていた行事等も多く、残念ながら場はなくなっているが、特に不自由を感じてはいない。単 PTA としての活動を充実させていきたい。他校の情報についてはブロック会長会で十分である。
- ・ グループLINEなので気軽に質問や情報交換がしやすく、今後も活用されると良いと思います。
- ・ 共働きの保護者が大変多くなっておりまして、来年以降も、直接集まらず、LINE グループ上での情報交換が良いと思います。
- ・ 今年度はPTA活動の改革のため、他校のPTAの方に教えていただきたい事がたくさんあったので、会長会から声かけをしていただいて、グループLINEを作っていました。東部ブロックの皆さまのおかげで大変貴重な情報を教えていただき、とても有用な機会となりました。ご協力いただいた東部ブロックの小学校の皆さまに大変感謝をしております。副会長会を従来の回数を開催されるのは主催側も参加側も大変負担だと思いますし、学校によって総会の時期にズレもあるため、相談したい問題が出たときにタイムリーに聞ける場が大変よかった。
- ・ はっきりとした副会長の仕事は少ないので、他校がどのように仕事のわりふりをしているのか。
- ・ 他の学校が取り組んでみてよかったことを教えてほしい。より子どもたちや学校が活力あるようにしたい。
- ・ 中学校の校区がかぶっている小学校間での PTA 活動への協力体制に差があるとやりにくさが生じる可能性もあるため近隣校区間での情報交換を積極的に行いたい（子供の安全面や学校生活の充実を図りたいため）
- ・ 会長で情報交換ができていますので、副会長も繋がる必要性がないかと思います。
- ・ PTA 役員を選出の方法や仕事量について
- ・ 7月に十四中にて行われた副会長会は各校の様子を直接うかがうことができるとても有意義でした。イベントを企画されている校のその後など聞きたいなと思います。副会長会のグループラインでもあるといいと思います。
- ・ ただ集まるだけでなく、問題等のある時相談できる体制が欲しい。(LINE、ZOOM 等)
- ・ 出席任意のオンライン会議が出来たらと思います。
- ・ 一回の集まりでは各学校の困りごとや悩み事に対応するのは難しく、時間的制約もある中で難しさを感じた。
- ・ 先日北部ブロック会長会に副会長も参加し情報交換させていただきました。他校の PTA については全く知識がなかったので、自校との違いなど興味深くお話を聞きました。
- ・ 毎月集まるのは負担だと思いますが、学期ごとに1回とかの情報交換は有益ではないかと思います。
- ・ コロナ禍の中で PTA らしいイベントが出来ていないので、各校の情報も定期的に知りたいというのはある。

- ・ 会長会に副会長が同席する（副会長はオンライン出席などもいいのでは） 学校規模ごとで PTA の運営におけるお困りごとに違いがあると思うので、ブロックだけにこだわらずいろいろな学校と情報交換ができる場があるといいですね。
- ・ 会長会はあるので副会長会もあって良いのではと思います。
- ・ 先日参加させていただきました会長会のように各中学校に集合して会議をするのは時間的、交通手段的に厳しいと思いますが、オンラインでの意見交換ができると参考になるお話が聞けるのでとても有意義だと思います。ペーパーレス化については我校でも実施したいと最初（春頃）に話していましたが実施できておらず、方法についていろいろ聞けるといいと思いました。
- ・ アンケート調査は課題抽出し、意見集約に活用できれば良いと思います。また、文章にて伝える事で履歴に残しやすいです。

8. ①PTA 主催の行事を行っている。または行う予定である。（予定を含む）



その中から、どのような行事で、どのような新型コロナウイルス感染予防対策を講じて行う（行った）か聞きました。今後の PTA 活動の参考になるようにご紹介します。

- ・ ラジオ体操→参加者の限定、マスク着用、手指消毒、体温測定、人との距離、景品配布を学校に依頼
- ・ 花火開放（予定）→花火をする場所の区画を整理して、申込制で実施予定→対策はラジオ体操同様の予定
- ・ 毎年開催してきたフェスティバルができない代わりに、学校生活内の時間で可能なワークショップや、動画作成、キャンドルナイトなど、企画を分散して開催することで、子ども達に少しでも楽しんで貰える企画を考えている。
- ・ 学年懇親会 コロナの状況を見て検討中
- ・ 8月にファミリー花火として校庭を開放し、手持ち花火PTAで打ち上げ花火をするという企画がありましたが、宣言が出たため中止、対策としては事前に申し込みを受け付け、受付で消毒や体温チェック。梅ジュースを作り、試飲会を予定していますが、延期になっています。対策は、以前は校庭で自由に飲めましたが、給食時に行うことにしました。
- ・ 12月にキャンドルナイトを行う予定にしています。

- ・ 秋イベントとして行う予定です。子供達が密にならないよう、学年別、時間を区切る検温、手指消毒の徹底
- ・ 行事としては、今年度は手持ち花火大会、昨年度はオンラインビンゴ大会を3月に実施しました。
 - ※ 昨年度のオンラインビンゴ大会は、放送室と各教室のTV機器を使用し実施。各教室には最低限のスタッフを配置して行った。
 - ※ 今年度の手持ち花火大会は、運動場に直径5mの円を描き、各家庭その円の中で花火を行う。2部制（1部約20分）の入れ替え制。（8/22雨天延期、8/29非常事態宣言により中止）
- ・ 児童に動画を募集し、学校HP内のパスワード付きサイトで限定公開する予定
- ・ 体操教室などの動画を配信予定
- ・ 土日、休日などの校庭開放
（これが「行事」といえるほどのものでなかったら、申し訳ありません。）
- ・ 当日の感染予防対策としては、以下の通りです。
- ・ 換気を考慮し屋外の屋根のある場所で行った。
- ・ 一度に集まる人数を減らすため一学年ずつ行った。
- ・ 消毒、非接触の検温、マスク着用
- ・ 来場したPTA会員の人の流れが一方通行になるように会場の用意をし、誘導した。
- ・ 上記を、来場予定者に対し、事前に通知して協力をお願いした。
- ・ クラス委員選出会と全体会を同日に行いました。
- ・ 事前に立候補を募り、立候補者が不足のクラスについては抽選です。（コロナ前は、学級懇談後に保護者の目前で抽選の流れでしたが、今年はコロナ禍で学級懇談はなかったためPTA室で役員による厳正な抽選を行いました。）
- ・ 子供と保護者の親睦会 ・ 手持ち花火大会 2021年度
→人数制限、検温、手指消毒、各ブースを設けてグループ同士の間隔をあける。
- ・ 11月頃にプロジェクションマッピング（花火・6年生の作品応募）をする予定。
- ・ お楽しみ会（映画鑑賞）：夏休みに実施、にしおかカーニバル：11月予定
- ・ 蜜を避けるために学年（低学年、中学年、高学年）ごとの分散開催に変更する。保護者の付き添いを行わず、付き添いなしでも児童が安心して参加できるように、見回りや案内の人員配置を行う。スペースの広さに応じて人員制限を設ける。事前アンケートを行い、あらかじめ参加人数を把握することで、人数制限を超えないようにする。
- ・ 参加者には体温と体調について保護者のサインした健康観察カードの提出とマスク着用を求める。
- ・ アルコールスプレーなどを設置する。換気できるよう窓や扉を開放する。
- ・ 会話する場所ではアクリル板を設置する。
- ・ オンラインセミナーの講師に依頼して、教育セミナー、親子料理教室、折り紙教室の3つのオンラインセミナーを開催する予定です。
- ・ キャンドルナイトを予定しているが、中止の可能性も。。。。
- ・ 学年別、ボランティアは当該学年ボランティアのみ
- ・ 水てっぽう ランドセル棚づくり
- ・ キャンドルナイトを行う予定で、他校を見学させてもらうことにしていましたが、延期のため、2学期に検討します。
- ・ 2学期に謎解きやろうプロジェクトを検討中
- ・ 緑地の輪
- ・ 学校のゆるキャラコンテスト&クイズ

- ・ 子どもたちによるキャラを考えてもらい優秀賞を決定。採用されたキャラクターは、広報誌やポスターに掲載の予定
- ・ オンラインで各教室とをつないで、小学校にまつわるクイズを行う予定です。
- ・ 委員の体調チェック表を導入
- ・ 親子葉刈り→一般の募集をせず役員のみで行う。子供の参加をナシに密を避ける。短時間で作業のみ行うようにした。
- ・ たなばたかざり→学校側との共同で各学年ごとに分かれて行うことで、密を避ける。
- ・ 竹ランタン点灯の会（12月頃）
→事前申込制で人数を把握、一方通行で観覧
- ・ 1年生親子レクリエーション
- ・ あいさつ運動、生徒会との懇親会（年2回）、葉刈り、防犯講習会、文化講習会、門松づくり、餅つき大会（中止）、学年親睦会
- ・ 8/21（土）ワックスがけの予定だったが、緊急事態宣言発令為の中止
- ・ 制服等リサイクル、花の植え替え、会員交流イベント等（全て予定）
- ・ アルコール、検温、マスク、ソーシャルディスタンス等
- ・ ①生活指導員会主催（6月実施）・オンライン講習会（講師を招いてのオンデマンド配信による視聴）テーマ：思春期の子どもとの接し方
- ・ ②防災教育委員会・安否確認訓練（6月実施）→Google機能を利用したの訓練
- ・ 文化体育委員会主催の〈ズンバ〉の講習会を9月6日に開催準備をしている。感染対策や消毒や換気を行いながら、人数制限をするために抽選で20名程度に絞り行う予定。
- ・ ステージ・模擬店・花火などを行う「いちごフェスタ」というお祭りイベントを10月に行う予定です。
- ・ 今年度は全体の時間短縮・人数制限・入口での検温、模擬店については飲食なし、校舎内なし（校庭のみ）、ステージの観客席はパイプ椅子で距離を置くなどのコロナ対策を行います。
- ・ PTA 研究大会は、少数参加＋zoom 配信にて行います。
- ・ 6月に親子三代ゲートボール大会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。
- ・ 人数と時間を制限して人が集まりすぎないようにする。
- ・ まだはっきりとは決まっていないのですが、「シトラスリボンプロジェクト」というのを考えています。シトラス色のリボンを作り、身につけて「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動で、コロナの感染者への差別、偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができる活動です。
- ・ キャンドルナイトを行いました。キャンドル数を減らし、準備に参加するスタッフの人数を減らしました。入場時間を15分ずつ学年でずらし、密を減らすようにしました。
- ・ 昨年、学校で出店や遊びイベントを開催して児童に楽しんで貰うイベントを行っているが、今年度はオンライン（zoom）のセミナー機能を使った遊びを企画している。
- ・ ブロックの会長会議で進めて下さっている行事なので詳細は存じていません。教育関連のゲストを招いてのリモート講演だと聞いております。
- ・ 大きな行事は難しいですが、委員会ごとに日常の活動（おはよう運動・巡視等）は取り組んでいます。行事に取り組む際には役員・学校・地域と相談しながら、実施・中止の判断をしています。
- ・ ワイワイ祭りというイベントで、校内の子供達を対象とした校内でのお祭り。新型コロナウイルス感染対策をしながらの開催が難しいため、昨年は中止、今年は子供が家庭で遊べるキット等を配布予定。

- ・ 毎年、給食試食会や講演会を実施しています。また地域のお祭りなどいくつか PTA として参加していますが、今年はコロナのため全て中止となりました。
- ・ 学校美化(9月実施予定でしたが、緊急事態宣言の延長で中止になりました。)マスク着用、アルコール、ソーシャルディスタンス 個人的に中学校の PTA 活動にはイベント事は不要との考えです。陰ひなたから見守るのが親の務め。保護者が学校に求めるのは、健全な学業やクラブ活動などの学校活動であるとの考えからです。

さらに、研修をしている場合、そのテーマ(過去2年分)について聞きました。

- ・ 人権についての研修
- ・ 社会見学(滋賀方面、陶芸などの体験) 講演会(しつもん読書会)
- ・ 給食センター施設見学(運営委員が受けた講習:普通救命救急講習、熱中症予防講習)
- ・ ハーバリウム講習会・安全なスマホ講習会・救命救急講習会・高校説明会・給食試食会等などがあがりました。

最後に、

その他、PTA 活動で困っている事や他校に聞きたい事や情報共有したい事を聞きました。

<リモート・オンライン・ペーパーレス化>

- ・ 今回のコロナ禍において、会議の在り方について見直すいい機会と思っているが、どれだけの単 P がリモートを導入したか知りたい。
- ・ リモートへの移行を検討するにあたり、先進的にリモートを導入した単 P の方にノウハウを教えていただきたい。
- ・ オンライン化への対応
- ・ 学校の Wi-Fi 環境が整っていれば、もっと PTA のオンライン会議などが、やりやすくなるかと思います。誰もが得意ではないので、学校で伝授し、少人数で学校に集まる人と他家でオンラインと好都合の会議の場所を選択できればいいなと思います。
- ・ ペーパーレスへの意欲
- ・ 情報量はペーパーの方が多く見やすいです。また様々な保護者がいますので紙での案内は効果的。学校は伝えないといけません、目にとまる手段は多いほうがいいです。特に小学生・中学生のご家庭に対してです。との思いが強いです。この点は重要度に応じて取捨選択すべきと考えます。コロナ関連の情報はメールや HP も重要です。但し、文書を出すことも重要です。配布がないと何も連絡がこないという保護者もいました。

<コロナ禍での活動事例>

- ・ 共働き家庭が増えている中、PTA 運営や行事等の見直しを行っているかどうか。
- ・ コロナ禍における PTA 活動について、単 P レベルで実践された活動事例の情報がもっと欲しい。
- ・ 例年の PTA 行事のほとんどが中止になっていますが、コロナ化でどのような代替活動をされていますか
- ・ コロナ禍が落ち着いたら、例年の行事は元通りに復活させる予定ですか?その際は例年の行事を実際に経験している役員が減っていく中で、引継ぎはどのようにされますか。

- ・ コロナ禍において今まで問題なく行えていたことが出来なくなっています。学校規模などが各学校によって異なっているので難しいのですが、ある程度の線引き（どういった対策を講じる、どのような形であれば行事等を行えるなど）が豊中市として統一できると良いと思います。
- ・ コロナで従来の活動は中止せざるを得ないことが多く、役員のモチベーションを保つのが難しいと感じています。
- ・ コロナ禍で新しい取り組みをされたら教えて頂きたいです
- ・ 各委員会主催の行事が中々開催出来ない、あるいは活動がしにくい環境の中で、各委員会は、どのように活動されているのでしょうか？
- ・ 近隣の小学校の情報が知りたいです。庄内南小はもうすぐ千成小と同居する形になると聞いているので、コロナ禍になった今、交流が出来ていない分、共有したいところです。
- ・ 学校行事への参加状況
- ・ 他校はどのような感じで PTA 活動に取り組まれていますか？

<役員選出>

- ・ コロナ禍で保護者を参加させる行事ができないので、次期役員への勧誘が困難です。子供たちの安心・安全を守ろうとすると、保護者の手を借りなければならない。自分の子供が通っている学校なので、少しのお手伝いはしてね、とは思いますが、当番を組んだりなど取りまとめは実際大変です。警備費用をもっと学校にに応じてかけてほしいと思うところもありますが、保護者が学校に全くノータッチというのも少し違う気がして、難しいなと思います。
- ・ ポイント制への是非、ポイント制ではない団体の取り組み状況
- ・ ポイント制を活用して何か特典などを実施していたりするのか聞いてみたいです。
- ・ 役員選出方法、役員選出における工夫等
- ・ 仕事量についてお聞かせいただきたいです。
- ・ 特に困りごとはありません。前年踏襲にとらわれず、いろいろな方のお話を聞きながら、その年度の役員らしい活動ができれば、それで OK だと思います。
- ・ 「男性会員」「女性会員」の業務分担と名称表記について　そもそも、男性、女性で分担はあるのでしょうか？他校はどのように表記してるのか？「男性会員」「女性会員」の標記の場合は、次年度の「指名委員」や「役員選出」に関係してるのか？

<子どもの教室の責任の所在について>

子ども教室は教育委員会の管轄、子ども教室主催団体は公民分館と PTA、と書類には記載があります。しかし、子ども教室代表者の認識は、PTA はあくまでお手伝いであり開催するか否かの決定権は PTA にはないというもの。結局、責任の所在がはっきりしないため、開催するか否かの意見が分かれて難しいです。（コロナ禍でも子ども教室開催者は開催の意向ですが、PTA は開催に慎重の意向。7月の打合せ時点で。）PTA も主催団体の一つであるならば、PTA にも決定権があるのではないのでしょうか。もし、PTA は主催ではないということでしたら、場所も参加者もお手伝いの方々も学校および PTA がからむことですので、管轄する教育委員会から、例えば緊急事態宣言中は開催しない、市の判断基準にするなどのルールを決めてもらえると、今後判断しやすくなります。

<会費・運営等>

- ・ 環境整備と契約状況
- ・ PTA 会費の有効な使い方について等を聞いてみたいです。
- ・ 会計についてですが、一昔前まではネットでの購入は一切ダメだったかと思いますが、今現在、各学校はネット購入について、どのような対応をされているのでしょうか？
- ・ 本校では学校生活の中での、保険加入について見直しを行い保険料の削減ができた。他校で加入されている保険の状況（具体的な名称や内容）を知りたい。
- ・ 親が子を犠牲にしてまで活動しなければならないPTAの負担の大きさとまどう
- ・ 管理している書類の処分基準
- ・ 4 役間のミーティングの頻度
- ・ 体育館の全館冷暖房設備の整備も早急にすすめるべき。池田市や箕面市は既に対応しています。そのような実情も再認識し、豊中市も整備してほしい。また ICT 教育の充実。特に自宅から授業を受けれるように遅滞なく進めてほしい。
- ・ 今回は質問が多くワードでの回答は少し手間に感じました。ネット上（Google アンケート）やラインで回答できる方式を検討してほしい。
- ・ 回答期間が短いように思いました。夏休み期間、緊急事態宣言中でもあり、運営委員会は休止中のことも多いです。PTA 役員や委員長に話す機会も減るので、9 月末ぐらいにしてはどうでしょうか。